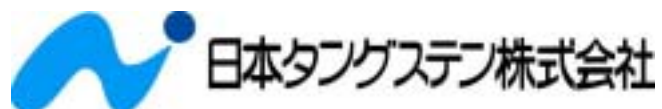


第93期 中間事業報告書

平成15年4月1日～平成15年9月30日



次世代材料のパイオニア。
未来への跳躍。



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第9 3期中間期（平成15年4月1日から平成15年9月30日まで）の営業の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

（1）営業の経過および成果

当中間期におけるわが国経済は、輸出の増加や設備投資の改善により企業収益の回復が見られるなど、景気の持ち直しの動きが見られましたが、長引くデフレ不況の影響から個人消費は依然として厳しく、加えて円高の影響もあり、先行きの不透明感を残したまま推移いたしました。

当社グループの関連する業界におきましては、低価格化の動きや市場の海外シフトが拡大するなど、グローバル市場規模での競争が激化いたしました。

このような状況のなか、当社グループといたしましては、海外市場への積極的な展開を図るとともに、コア製品を軸に新製品、新用途への拡販を強力に推し進めましたが、当中間期の連結売上高は、前年同期に比べ3.1%減の46億9千2百万円となりました。

利益面につきましては、材料費の削減や生産の効率化等、低コスト経営への取り組みを積極的に行った結果、連結経常利益は前年同期比8.2%増の1億3千8百万円となりました。連結中間純利益は、遊休地の処分に伴い、土地売却益を計上しましたが、投資有価証券評価損や税効果会計による法人税等調整額の増加により、前年同期比26.7%減の6千万円となりました。

なお、セグメント別の状況につきましては後掲の「セグメント別の状況」に記載しております。

（2）対処すべき課題と今後の見通し

当社は、既存市場の更なる深耕と新用途、新商品の開発を推進するため、従来以上にソリューション提案型営業を強力に展開し、“小粒でもキラリと光る会社”をめざして、事業の発展につとめてまいります。

新用途、新商品の開発では、タングステン、超硬、セラミックス材料のコア技術をベースに情報通信、環境関連、半導体製造関連等の成長が見込まれる分野において、新用途、新商品の開発を推進してまいります。

海外戦略におきましては、製造コストの一層の低減、海外シフトを強める顧客との

株主のみなさまへ

積極的な対応をはかるため、中国およびタイ合弁会社との連携を強化し、海外市場での拡販と国内・国外の生産販売体制の整備・強化をはかります。

また、資産効率の面では、事業との関連が薄い不動産や有価証券等の処分を行い、収益およびキャッシュ・フローの改善をはかります。

環境保全の面におきましても、当社はすべての工場で環境ISO14001を取得しております。今後も環境へ配慮した事業活動を通じて、環境への負荷を極力低減するよう努力してまいります。



今後の見通しにつきましては、景気回復の動きが徐々に見られますものの、实体经济はデフレの影響がつづいており、加えて円高による輸出への影響など懸念要因もあり、引き続き厳しい経済状況で推移すると思われま

す。このような状況の下で、当社グループはNTダイカッターや超精密加工品など好調なコア製品をさらに拡販するとともに、樹脂タングステンシートや誘電体セラミックなど新商品の市場開拓、用途開発に努めてまいります。

また、国際化への積極的な対応として、引き続き中国事業に注力してまいる所存であります。

なお、中間配当金につきましては、1株につき2.5円の配当とすることといたしましたので、なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年12月

取締役社長 吉田省三

セグメント別の状況

粉末冶金事業

電気電子関連

電気関連製品は、原子力関連の特需により一部の接点製品が増加しましたが、照明用、コピー機用タングステン線・棒製品は、低価格化の進行や中国を中心とした海外シフトが進み、またSARS等による在庫調整により減少しました。

電子関連製品は、超精密加工品がデジタルカメラの増加により好調に推移しましたが、HDD用磁気ヘッド基板は従来のパソコンに加えて、DVDレコーダー等のデジタル家電製品へのHDDの搭載が進んでおりますが、ヘッドの小型化、高集積化が進み、基板数量が減少いたしました。この結果、売上高は前年同期比2.4%減の30億2千1万円となりましたが、営業利益はコスト削減効果により、2千3百万円となり、前年同期8百万円の損失から黒字に転換いたしました。



機械関連

機械関連製品は、NTダイカッターがサニタリー分野を中心に、国内、海外市場とも堅調に推移しました。また、超硬リング・スリーブ製品は原子力関連で増加したものの、切削工具等その他の製品が総じて低調に推移しました。この結果、売上高は前年同期比0.4%微増の14億1千2百万円にとどまり、営業利益は同9.0%減の6千6百万円となりました。

これにより粉末冶金事業全体では、売上高は前年同期比1.5%減の44億3千3百万円となりましたが、営業利益は同38.6%増の9千万円となりました。



産業用機器事業

主要得意先である半導体製造装置メーカーの設備投資の抑制や経費削減等による設備保守需要が低調に推移し、またプラントも大型の案件がなく、売上高は前年同期比23.0%減の1億6千5百万円となり、営業損益は前年同期5百万円の利益から8百万円の損失となりました。



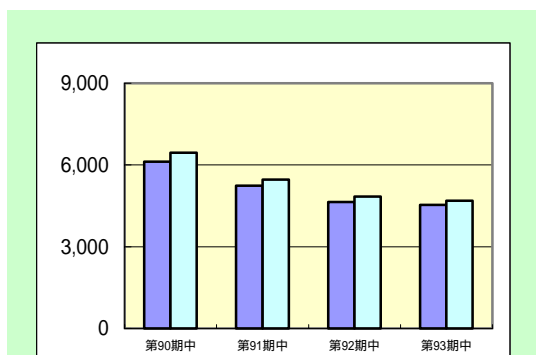
その他事業

その他製品は、衣料用の形状記憶合金製品が個人消費の低迷、消費者の嗜好の変化に伴い、受注の減少傾向が続いておりましたが、今後の回復も見込めないことから事業を大幅に縮小いたしました。この結果、売上高は前年同期比27.3%減の9千3百万円となり、営業利益は同39.8%減の1千6百万円となりました。



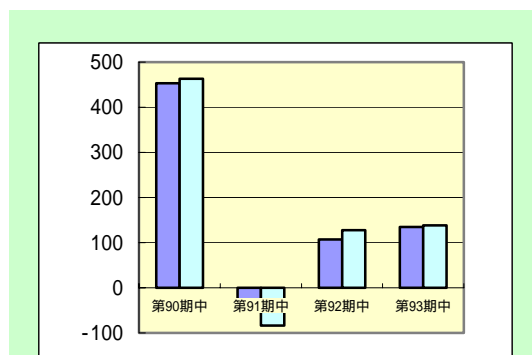
財務ハイライト

売上高 (百万円)



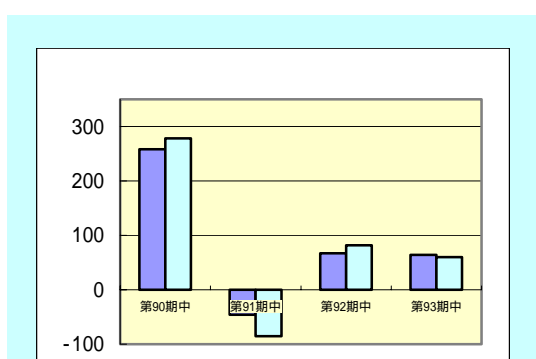
	第90期中	第91期中	第92期中	第93期中
单独	6,119	5,235	4,643	4,535
連結	6,453	5,466	4,844	4,692

経常利益 (百万円)



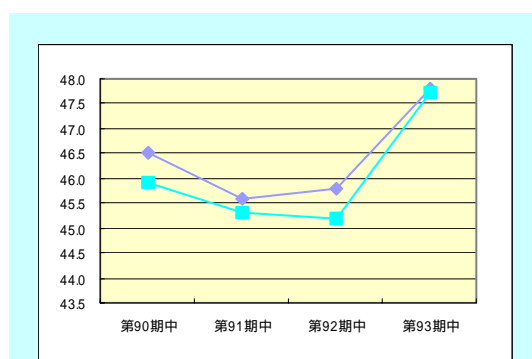
	第90期中	第91期中	第92期中	第93期中
单独	453	47	107	135
連結	463	84	128	138

中間純利益 (百万円)



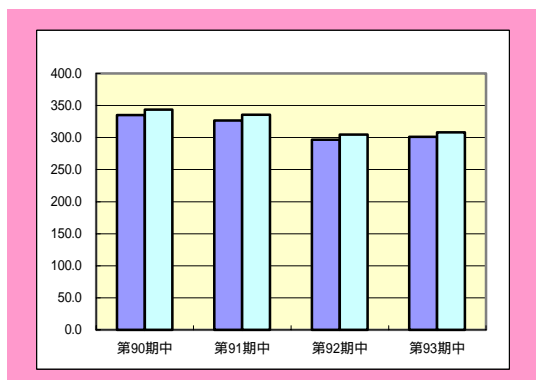
	第90期中	第91期中	第92期中	第93期中
单独	258	46	67	64
連結	278	85	82	60

自己資本比率 (%)



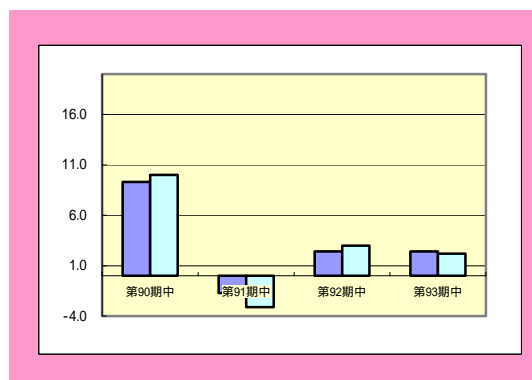
	第90期中	第91期中	第92期中	第93期中
单独	46.5	45.6	45.8	47.8
連結	45.9	45.3	45.2	47.7

1株当たり純資産額 (円)



	第90期中	第91期中	第92期中	第93期中
单独	335.2	326.7	296.6	301.3
連結	343.4	335.6	304.8	308.1

1株当たり中間純利益 (円)



	第90期中	第91期中	第92期中	第93期中
单独	9.3	1.7	2.4	2.4
連結	10.0	3.1	3.0	2.2

連結決算

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表(要約)

(単位百万円)

科 目	当中間期	前中間期	科 目	当中間期	前中間期
流動資産	7,428	7,849	流動負債	4,417	4,402
現金及び預金	2,008	2,112	支払手形及び買掛金	841	901
受取手形及び売掛金	3,377	3,459	短期借入金	2,906	2,895
たな卸資産	1,648	1,813	その他	668	605
その他	408	484	固定負債	4,789	5,865
貸倒引当金	13	20	長期借入金	1,814	2,734
固定資産	10,178	10,879	退職給付引当金	1,941	2,084
有形固定資産	8,316	8,887	その他	1,033	1,046
建物及び構築物	6,137	6,452	負債合計	9,206	10,268
機械装置及び運搬具	1,610	1,913			
その他	568	521	資本金	2,509	2,509
無形固定資産	37	82	資本剰余金	2,229	2,229
投資その他の資産	1,824	1,909	連結剰余金	3,473	3,573
投資有価証券	1,436	1,238	その他有価証券評価差額金	430	296
その他	404	695	為替換算調整勘定	144	144
貸倒引当金	16	24	自己株式	96	3
			資本合計	8,400	8,460
資産合計	17,607	18,729	負債及び資本合計	17,607	18,729

(注)有形固定資産の減価償却累計額 13,235 百万円



たな卸資産や設備投資の減少により、総資産は減少しました。また、負債は長期借入金の返済などにより減少しました。これらにより、自己資本比率は前中間期末に比べ 2.5 ポイント改善しました。また、資本政策面では株主総会決議に基づく自己株式の買取りを昨年度に引き続き実施しました。

連結損益計算書(要約)

(単位百万円)

科 目	当中間期	前中間期
売上高	4,692	4,844
売上原価	3,839	4,015
売上総利益	853	828
販売費及び一般管理費	756	731
営業利益	97	96
営業外収益	182	207
営業外費用	140	176
経常利益	138	128
特別利益	23	5
特別損失	15	0
税金等調整前中間純利益	147	133
法人税、住民税及び事業税	17	11
法人税等調整額	69	39
中間純利益	60	82

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位百万円)

科 目	当中間期	前中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	442	568
投資活動によるキャッシュ・フロー	2	83
財務活動によるキャッシュ・フロー	571	60
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	3
現金及び現金同等物の増加額	134	421
現金及び現金同等物の期首残高	2,143	1,690
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,008	2,112



長期借入金の返済に伴う財務活動による支出が大幅に増加し、中間期末の残高は、期首より 1 億 3 千 4 百万円減少しました。また、設備投資が減少したため、投資活動による支出は少額にとどまりました。



売上高は前中間期と比べ 3.1% 減少しましたが、売上原価率が 1.1 ポイント改善し、営業利益、経常利益とも前中間期と同水準の利益となりました。なお、当中間期の特別利益は土地売却益であり、また特別損失は投資有価証券評価損であります。

単 独 決 算

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表(要約)

(単位百万円)

科 目	当中間期	前中間期	科 目	当中間期	前中間期
流 動 資 産	7,147	7,378	流 動 負 債	4,419	4,297
現金及び預金	1,837	1,828	支払手形及び買掛金	858	901
受取手形及び売掛金	3,323	3,395	短期借入金	2,906	2,895
たな卸資産	1,530	1,687	その他	653	500
その他	468	486	固 定 負 債	4,566	5,439
貸倒引当金	12	19	長期借入金	1,814	2,734
固 定 資 産	10,054	10,592	退職給付引当金	1,792	1,920
有形固定資産	8,230	8,803	その他	960	784
建物	5,808	6,096	負 債 合 計	8,986	9,737
機械装置及び運搬具	1,552	1,856	資 本 金	2,509	2,509
その他	869	850	資 本 剰 余 金	2,229	2,229
無形固定資産	19	28	利 益 剰 余 金	3,144	3,202
投資その他の資産	1,803	1,760	その他有価証券評価差額金	428	295
投資有価証券	1,221	1,066	自 己 株 式	96	3
その他	599	717	資 本 合 計	8,215	8,233
貸倒引当金	16	24	負 債・資 本 合 計	17,201	17,970
資 産 合 計	17,201	17,970			

(注)有形固定資産の減価償却累計額 12,859 百万円

損益計算書(要約)

(単位百万円)

科 目	当中間期	前中間期
売上高	4,535	4,643
売上原価	3,747	3,886
売上総利益	788	756
販売費及び一般管理費	697	667
営業利益	90	89
営業外収益	197	203
営業外費用	152	185
経常利益	135	107
特別利益	23	4
特別損失	15	-
税金等調整前中間純利益	144	111
法人税、住民税及び事業税	10	8
法人税等調整額	69	36
中間純利益	64	67
前期繰越利益	751	368
利益準備金取崩額	-	410
中間未処分利益	815	845

トピックス 製品のご紹介

NT ダイカッター

平成14年度 超硬工具協会「技術功績賞」受賞



NTダイカッターは抜き金型などでは加工が困難な紙、不織布などの輪郭を高速・高精度で切断する超合金製ロータリーカッターです。

当社は、世界に先駆けて超合金製ロータリーカッターの商品化に成功いたしました。従来品であるスチール製ダイカッターと比較して約10倍の寿命を誇り、さらに高速加工や良好な切断特性により、高い評価をいただ

いております。

NTダイカッターは、国内のみならず海外のお客様にも十分満足いただいております。衛生用品である紙おむつ等の切断や合成樹脂その他複合フィルム、金属箔などの輪郭加工等に幅広く使用いただいております。

誘電体セラミックス



近年、マルチメディア関連における無線通信分野の情報は拡大し多様化するとともに、より効率的な電波の利用が求められています。このため、情報機器や放送機器は、より高い周波数の電波を活用する方向へ進展しています。当社はこれらの通信システムに必要な不可欠なフィルターや、

発信器の小型化、高性能化、安定化に寄与するマイクロ波誘電体セラミック材料を開発しました。

当社の開発したマイクロ波誘電体セラミックス、誘電体アンテナ、誘電体共振器は誘電率の設定が幅広く、低損失などの特長を有しており、他社にはみられない高誘電率材をラインアップに加えており、携帯電話やGPSナビゲーション、無線LANなどに使用されています。



樹脂タングステンシート



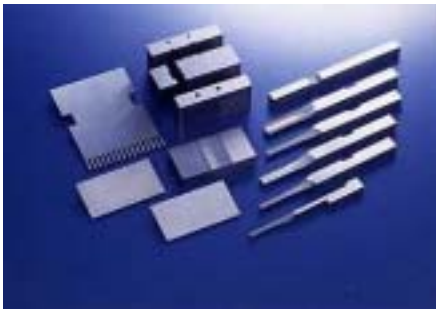
鉛に替わる新素材として、鉛と同等以上の比重および放射線遮蔽能力を持つ環境にやさしい高比重の樹脂タングステンシートを商品化しました。

樹脂タングステンシートは、特殊な調整方法で混合したタングステン粉末と樹脂を合成し、シートに成形したものです。環境保全の観点から鉛の使用量を極力低減していくことは社会的使命となっており、鉛に替わる新たな放射線の遮蔽材として今注目を集めており

ます。

また樹脂タングステンシートは、家庭用のハサミやキリで簡単に裁断、穴明けできるなど優れた加工性を備えております。主な用途としては、原子力関連施設の放射線遮蔽材や放射線防護機器、各種X線検査装置、一般放射線防護用として使用されています。

新セラミックス材料「NPZ - 28」



携帯電話、パソコン等のコネクタや電子部品のリード部分等に使われる銅系部品のプレス用金型材料として、新セラミックス材料「NPZ - 28」の開発いたしました。「NPZ - 28」は、当社が長年培ってきたファインセラミックス技術を応用したセラミックス材料であり、独自の粉末混合方法により導電性硬質物質を最適な状態で分散させ、更に特殊な方法で焼結

したものです。従来のセラミックス材料の課題であった耐チップング（欠損）性能を飛躍的に向上させ、超合金の約2倍の寿命を実現しました。超硬材料とセラミックスの各々の特徴をミックスした特色ある材料として、用途開発を図ってまいります。

企業結合の状況 重要な子会社等の状況

連結対象子会社

株式会社 福岡 機器 製作 所	福岡市博多区	産業用機器事業
株式会社 昭和電気接点工業所	福岡県飯塚市	粉末冶金事業(電気電子関連)
株式会社 エヌ・ティーサービス	福岡市博多区	その他事業

持分法適用関連会社

サハピリヤニッタン株式会社	タイ王国バンコク市	粉末冶金事業(機械関連)
SVニッタンプレジジョン株式会社	タイ王国バンコク市	粉末冶金事業(機械関連)
四平日本タングステン有限会社	中国吉林省四平市	粉末冶金事業(電気電子関連)
九江日本タングステン有限会社	中国江西省九江市	粉末冶金事業(電気電子関連)

会社の概要 (平成15年9月30日現在)

設 立	1931年(昭和6年)4月1日
資 本 金	25億950万円
従 業 員 数	489名
本 社	福岡市博多区美野島一丁目2番8号
事 業 所	東京支店、名古屋支店、大阪支店、福岡支店、香港ランチ 基山工場、飯塚工場、宇美工場
役 員	取締役社長 吉 田 省 三 (代表取締役) 専務取締役 小 倉 伸 一 常務取締役 石 橋 修 取 締 役 本 田 卓 実 取 締 役 怡 土 宣 彦 取 締 役 高 尾 幸 生 取 締 役 柘 植 成 彬 取 締 役 鎌 田 迪 貞 常任監査役 弥 吉 元 戎 (常勤) 監 査 役 原 芳 道 (常勤) 監 査 役 村 毅

株式の状況 (平成 15 年 9 月 30 日現在)

会社が発行する株式総数 100,000,000株

発行済株式の総数 27,777,600株

株主数 4,003名

大株主 (千株、%)

株主名	持株数	議決権比率
株式会社 東芝	4,959	18.45
九州電力株式会社	1,666	6.20
株式会社 福岡銀行	1,346	5.01
共栄火災海上保険株式会社	1,117	4.15
みずほ信託銀行株式会社	643	2.39
株式会社日立製作所	619	2.30
明治生命保険相互会社	601	2.24
自社従業員持株会	578	2.15
株式会社 新生銀行	568	2.11
株式会社 りそな銀行	491	1.83
株式会社 UFJ銀行	491	1.83

上記のほか、自己株式を517千株保有しております。

株式の分布状況

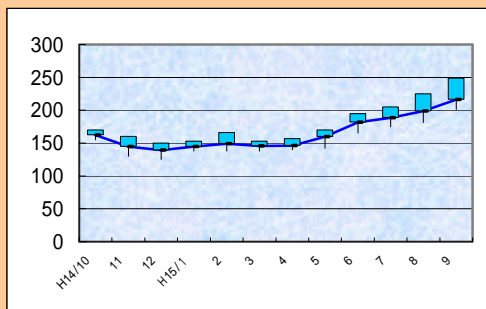
所有者別分布



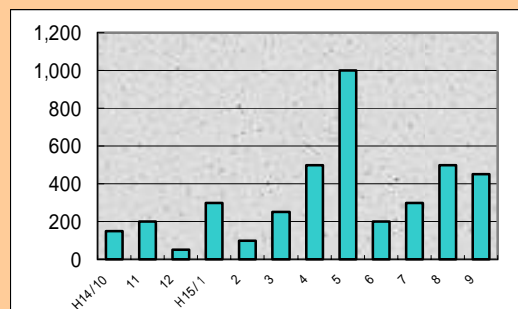
所有数別分布



株価の推移(円)



出来高(千株)



(備考) 株価および出来高は東京証券取引所での取引実績に基づいて記載しております。

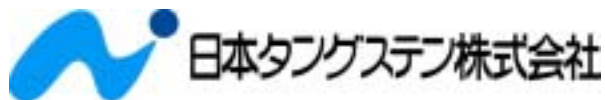
株主メモ

- ・決算期 3月31日
- ・基準日 定時株主総会、利益配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
そのほか必要あるときはあらかじめ公告して定めます。
- ・定時株主総会 6月
- ・1単元の株式の数 1,000株
- ・上場証券取引所 東京(2部)、福岡
- ・証券コード 6998
- ・名義書換代理人 東京都千代田区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- ・同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社 本支店
- ・お問い合わせ先 〒135-8722
東京都江東区佐賀一丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話(03)5213-5213(代表)
- ・決算広告 当社ホームページ <http://www.nittan.co.jp/> に
掲載しております。

(ご案内)

株式の名義書換、単元未満株式の買取請求、配当金振込銀行の変更などの諸手続きに必要な書類や手続き方法は、下記みずほ信託銀行株式会社のホームページでご覧いただけます。

<http://www.mizuho-tb.co.jp/cindex.html>



本社 〒812-8538 福岡市博多区美野島一丁目2番8号
TEL (092)415-5500(代表) FAX (092)415-5511
ホームページアドレス <http://www.nittan.co.jp/>

R100 古紙配合率100%
再生紙を使用しています



この冊子は、環境にやさしい大豆インクと
再生紙を使用しています。